

令和6年度 第I期 実習報告書のまとめ

山梨県薬剤師会
薬学生受入対策委員会

① 感想

- 実習生は当初、あまり頑張ることは苦手で好きでないと話していましたが、真面目に取り組む、実習がすすむうちに薬剤師としてどう考えていくのかが見えてきたと、努力することも頑張らなければならないこともできると話していました。調剤の一包化、在宅、薬物乱用防止教室講師などしっかりとできるようになり成長をかんじました。
- 久しぶりの指導と今までの薬局との違いにとまどいがあった。チェーン薬局だったので本部からの指示が多く本部と違うことをすると注意をされチェーン薬局の指導薬剤師のむずかしさを感じた。
- やる気の満ちた学生であり、教えたことの理解度、吸収のスピードが過去一すばらしかった。指導しているこちらサイドがレベルアップしたのではと錯覚した。はじまる前はいつも長いなと感じるがあとという間の2ヶ月半。他の指導薬剤師が中心となり進めてくれ、実習生も充実した内容を習得できたと思う。実習最後に「楽しく充実していた」と言ってもらえうれしかった実習生にもめぐまれた感じでした。
- 前回実習生を受け入れた経験が生かせていると感じました。薬剤師会の指導薬剤師の研修で様々な意見が聞けて、実践してみました。前回は何かしなければという思いが強く、常に実習生に何かやらせていた気がしました。今回の実習生には伸び伸びと自由に学習させてみました。そのおかげか実習生側から服薬指導に行きたいという話があったり、分からない所は積極的に質問していたりと充実した2.5ヵ月を過ごせていたと思います。
- 元々6年制の実習生の学生達は基礎学力がついている生徒が多いが今年の学生さんはとくに実務の知識含め基礎学力がついていた。学校で薬局実習対策をよくやってこられたようで、とてもスムーズに薬局実習が開始できた。自身の中で薬局実習とは、実際現場で働いている薬剤師がどういう仕事をしているか？を学ぶ場と思っているが、最初は分かっているのかどうかと心配したが学生さん自身が薬局実習で何を学ぶかを気づいてくれた事がうれしかった。しかし、個性マイルールが強い学生さんだったので、学生にあった実習を考える事が大変だったのと、薬局内のカサを借用したまま、自身でしまわずということが何度もあり少しマナーに欠ける部分があった。
- きた薬学生が積極的に実習に参加してくれたので、こちらもやりやすく2ヶ月半あつという間だった。今回、薬学生は課題の手伝い、大学の先生とのやりとりで負担が少なく、こちらの仕事がたまることがなかったです。
- まず実習を無事終えられたことに安堵しています。近年は薬の種類が増大しているだけでなく、薬剤師の果たすべき役割も増えており、実習生にとっては学ぶべき課題も多くなっていると感じます。11週ですべてを学ぶことはできないので、まず現場での第一歩として薬局実習が果たす役割を全うできたのではないかと思います。
- 無事に終わってほっとしています。薬剤師の職能が薬局内だけではなく、薬局外でも出来る事を少しでも見せることが出来たのかなと思います。
- 今回の研修は学校で学んできたことを丁寧に確認することをオリエンテーションにしっかり折り込んでやってみた。これが実習スケジュールを組み易くすることができたと感じた。

② 問題点と今後の課題

- とくにないと思います。
- 特になし。
- 例年に比べ早い段階から積極的に服薬指導をしてもらった。2回目、3回目で同じ患者様を担当する機会は作れたが、実習生不在で対応できない場面が多々あった。通常業務の中に実習内容をどのように押し込むか日々模索していましたが、うまくいかなかったこともあったので、次回にいかしたいと思います。
- 在宅業務についてはある程度実習できていたが、状態の変化がなく落ち着いていたため医師への処方提案などの場面が少なかった。知識について正しく教えていたが実習日誌を見ると間違っていて記載していたため、何か文字で起こして置くべきだったと反省しています。
- 毎年の事だが一人薬剤師店舗の小規模薬局で実習生をサポートできる薬剤師が店内に自身しかいないので大変。今年の学生さんは、薬局から距離が遠く通学するのに天候などに気をつかわなければならず、学生さんそれぞれの通学方法など考慮しながら考えて実習するのが大変。今後の学生さんも大学の授業と認識して実習を受けてほしい。コロナ禍が明け感染対策の意識が学生さんの中で少しずつ疎かになっているような気がする。大学の先生と面談した際も大学側も感じていると言われていた。
- 精神科の門前のため、どうしても使用する薬の多くが精神薬に偏ってしまう。対策としてテキストを用いてさまざまな疾患に触れてもらう時間を作りました。
- 昨今の医療費増大に伴い、OTC需要が高まると感じていますが、当薬局では取り扱い品目も少なく、また薬剤師自身の経験も浅いので課題を感じました。
- 在宅患者の入院等で現場へ行く回数が減ってしまったのでもう少し増やしていきたいと思います。
- 学校によって受けてきた指導内容が異なるため、指導側の思い込みのスケジュールは組めないのが逆に指導薬剤師側から学校に提案できる実習の事前プランを統一できたら少し楽になると感じた。

③ 問題点・課題の改善点

- 大学の訪問面談は3回あり、週報のコメントは指導者にも気づきがあり参考になりました。
- 特になし。
- こればかりはタイミングなので仕方ない。フォローアップを多用すれば時間のズレなく対応できるが、件数に限りがあることを実感した。今まで受入れてきた大学でほぼ同じだが実習日誌のコメントが1～2回しかない学生だけでなく指導薬剤師への励みにもなると思います。
- 研修が決まるのが遅く、定休日と重なる部分もあったため実習生のスケジュールが合わない場面があった。少し早く決めていただければありがたいです。実習の日誌の記載方法が定まっておらず、担当教員が訪問して指示された所から実習生が日誌の記入に困っていた。記載方法をあらかじめ決めておくの実習生も悩まずに済むと思います。

- 今回学生が病欠で休んだ際に調整機構のルールとしては大学へ薬局側から連絡をしなければいけないことになっているはずだが、学生から連絡が来ているから今後も病欠では連絡不要で病欠場合薬局側の判断で休ませそちらで調整してよいといわれた。薬局側は、やりやすいがそれで良いのでしょうか？
- 今後も集合研修の企画・運営をご協力お願いします。学生にもいろいろな薬局を経験することができるかと好評です。
- 集合研修によるOTC研修、他薬剤師会では集合研修があるようなので・・・
- 市販薬部分が当薬局ではそれほど売れていないので集合研修等で対応して欲しい。
- 指導側のカリキュラムなどがあげられる。

④ 協力薬局の感想・問題点と改善策

- 集合研修は座学の必要性は検討ですが、いろいろな薬剤師との出会いが心に残り有意義だと思いました。
- 協力薬局に学生を送ったところ、いろいろな薬局が体験できよかったと言われた。協力薬局の指導薬剤師も実習が終るとTELで学生の様子、実習内容を教えていただいたので、日誌に記入しやすかった。
- 当薬局でカバーできない在宅業務やOTC、セルフメディケーションなどの分野をお願いした。大変好評でした。実務実習にはなくてはならない存在です。基幹薬局のみで完結できないので今後も地域として受入れたいと思います。学生はさまざまな経験をしたいという気持ち強く本人的にも好評でした。
- 実習生から感想や実習した内容などを聞いて、私自身勉強になることが多かったです。研修に行く度、実習生が楽しかったですと言っていたので充実した研修だったと思います。
- 今年は特に協力薬局もなく自身の薬局で完結できた。
- 当薬局では十分に学習の機会を提供することが難しい分野を担当していただき、大変助かっています。今回受け入れ先の都合で1度キャンセルになった部分も後半再度連絡をいただきましてありがとうございました。
- 弊社ではグループ内での協力薬局研修については問題ありません。同時期に他薬局で研修している薬局同士でより連携をとれば良いなと思います。
-

実習生アンケート

長期実務実習 第I期(令和6年2月19日～5月5日) 9施設9名

アンケート提出者:9名

病院実習 未:9 済:0

①今回の実習はあなたのニーズにマッチしましたか？

最低 1	2	中程度 3	4	最高 5
			1	8

未記入:

②指導薬剤師から受けた指導時間についてどうでしたか？

物足りない 1	2	中程度 3	4	充分 5
				9

未記入:

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？

なし	あり	未記入
4	4	1

④自分で思い描く薬剤師像と実際の薬剤師像とマッチしていましたか？

かけ離れていた 1	2	中程度 3	4	合っていた 5
			2	7

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

なし	あり	未記入	その他
5	4		

⑥主に実習を受けた薬局の指導薬剤師の対応はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
				9

⑦今回実習を行った他の薬局等での実習はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
			1	8

⑧今回の実習が今後(在学中、卒業後)に役立つと思いますか？

役立つ 1	2	中程度 3	4	役立つ 5
				9

コメント部分について

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？

<あり> 4名

・机上での理想と現場では、投薬の面で多くの違いがあった。現場で講義が活きる場面は少ない

・実際に薬をさわったり、患者さんとふれ合ったりしたこと

・服薬指導の仕方、調剤から投薬まで時間を気にする必要があった。

・OSCEでの項目と現場では異なっていました。

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

<あり> 4名

<なし> 5名

病院 ⇒ 病院と薬局 病院 ⇒ ドラッグ調剤 病院寄り ⇒ 病院、薬局

薬局 ⇒ 薬局 企業 ⇒ 病院または企業

⑨今後の実習をより良いものにするためにお聞きします。

・臨床での経験を多く積むことができるとも良かった。薬の販売名を覚えたり、服薬指導を実際の患者に行うことは学校ではできなかったため、色々工夫しながらやりとげることができた。市での集合研修も薬局製剤や漢方、学校薬剤師など多くのことに触れることができ、様々なことに興味が出てきた。将来、山梨で働きたいとより思った実習になった。

・指導薬剤師さんをはじめ、薬局スタッフのみなさんが自分のスキル向上のために、嫌な顔をせず対応してくれたので、こちらも気がねすることなく質問や疑問を投げかけ、討議することもできました。実習させて頂いた薬局は、「理想の薬局像」に近いものがありました。外部実習にも力を入れて下さり、大変貴重な経験ができました。ありがとうございました。

・幅広い疾患にふれることができ良かった。患者様とのコミュニケーションをとる上で大切なことや調剤する上で気をつけることなど学べて良かった。地域によって研修が多いところと少ないところの差があったので、できれば統一してほしい。

・学校では学べない、臨床的なことが学べた。様々な研修があり、たくさんの場所に行ったことで、薬剤師は病院・薬局だけでなく働き方を知ることができたのでよかったです。

・県庁や環境検査センター、介護施設など、薬局以外の施設での学習がとても楽しく、貴重な機会でした。しかし、研修を行う施設が自宅から遠い場合などに交通費の負担が大きかったです。私の場合は実習薬局に負担をしていただいたため、問題なかったのですが、費用の負担が原因で貴重な研修の機会が失われることがないように県薬剤師会、または市薬剤師会での費用負担を希望いたします。何卒宜しくお願いいたします。

・精神の門前だったが、グループ店舗の他店舗に行かせてもらい色々な病院の処方せんを見ることができ勉強になりました。2ヶ月半の間に3回の服薬指導できた患者さんもいて継続的な支援も体験することができました。薬局内の雰囲気も良くてたくさん話してくれてとても楽しく過ごさせてもらいました。患者として来ただけではわからない薬局の良さをたくさん知ることができました。

・早い段階から服薬指導をさせていただき患者さん1人1人との接し方を学ぶことができました。様々な疾患の患者さんの服薬指導をさせていただいたので、それに伴って病態や薬についても沢山学べた点が良かったです。研修では、薬剤師が他にどのような仕事をしているか知ることができたので良かったです。他店舗での実習や研修の際には送迎していただいたのでとてもありがたかったです。2.5ヶ月、充実した実習生活を送ることができました。ありがとうございました。

・沢山の時間、向きあって頂き、充実した時間を過ごすことが出来ました。薬剤師の皆様も事務の皆様も仲が良く、気を張ることなく楽しい実習生活でした。自分の実力不足、勉強不足を多めに自覚することが出来たのでこれからの勉学に励もうと思います。一つ言えと言われたら沢山褒めて下さると自己肯定感が上がるので嬉しいです。大変お世話になりました。感謝しかありません。皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

・薬局の他、病院前薬局などを体験し、その役割を学ぶことができてよかった。